

県立がんセンター新潟病院医誌投稿規定および手引き

I 〈投稿者の資格〉

本誌に投稿するものは当院職員、当院と関係の深い者、および編集委員会にて依頼または承認された者とする。

II 〈原稿の種類〉

原稿は総説、原著、臨床経験、研究、症例、資料・統計、その他とし、他誌に未発表のものとする。内容は腫瘍およびその関連のあるもので、当院職員の研究、教育に寄与するものが望まれる。

III 〈原稿の申込〉

- 1 原稿は別に定める申込票とともに提出する。(提出原稿にも、標題、著者名所属を明記のこと。)
- 2 所属の書き方：当院の「病院概要」中の「病院の機構」に使用されている名称を使用する。
- 3 提出の際は、コピー1部を添付する。
- 4 提出の際、原稿とフロッピーディスクの両方を提出する。
入力媒体は、2HD、1.44MBの3.5インチフロッピーディスクで、MS-DOSフォーマットしたもの。
入力書式は、1校全角20字×20行で、保存形式は、テキストファイル(XXXXXXXXX.TXT)とする。

IV 〈原稿の様式〉

- 1 標題のページ
標題、著者名、所属、索引用語(Key word—分かりやすいもの5～6個以内)
- 2 本文
 - A) 論文の形式：要旨(400字以内で、必ず付けること) —はじめに—対象と方法(または症例)—結果(または成績)—考案—おわりに—文献—とする。但し、総説、資料・統計の体裁は自由とする。また、項目符号を使用する場合は、I…1…1)…などを使用する。
 - B) 原稿枚数は下記を原則とする。

	本文(文献を含む)	図・表
総説	20枚以内	10枚以内
原著	30枚以内	15枚以内
症例報告	15枚以内	7枚以内
その他	20枚以内	10枚以内

研究会等の抄録は、その都度抄録募集時に編集委員会が規定する。

原稿用紙は1枚20×20字のA4判用紙を使用する。

ワープロの際も、1枚20×20字とする。

- C) 学術用語は日本医学会又は各関連学会の用語集による。
- D) 外国人名、地名、化学用語は、原則として原語を用い、一般化したものはカタカナで書く。
- E) 薬剤名は一般名を用い、商品名はなるべく用いない。
- F) 論文中しばしば繰り返す言葉は略語を用いてもよいが、初出のときは省略してはならない。
- G) 数字は算用数字を用い、単位はCGS単位を原則とする。

記号はm, cm, mm, u, mu, g, mg, l, ml, °C, pH, N, M, Ci, mCi, uCiなどを使用する。
省略点は打たない。

- 3 図・表・写真はその説明をつけず、本文中に挿入希望箇所を明記する。
写真は全てプリント(手札版以上)とし、天地を記載する。原則として、カラーは受け付けない。
図は、原則として原稿のまま印刷されるため、太字で黒インキを使用する。
- 4 標題、索引用語(Keyword)、図・表の表題はなるべく日本語が望ましい。

5 文献

引用文献は論文に直接関係するものとし、引用箇所の上肩に番号をつける。文献欄には、引用順に次のように列記する。

A) 雑誌

引用番号) 著者名：標題. 雑誌名 (略名).
 卷 (号)：最初ページ-最終ページ (通しページ), 年.
 (例) 1) 加藤清, 赤井貞彦：胆道癌危険因子.
 新潟がんセンター病医誌. 25(2)：80-83, 1986.
 2) Fortman CS, Witte DL: Serum 5'-nucleotidase in patients receiving
 anti-epileptic drugs. Am J Clin Pathol. 84(2)：197-201, 1985.

* 著者名については、多数の場合は3名までの記載とする。

* 国内誌は、医学中央雑誌収載誌略名を、国外誌は、PubMed Journal Data baseのTitle Abbreviationに準拠。

B) 単行本

引用番号) 著者名：書名, 初版以外の場合はその版. 引用ページ. 発行所. 出版年.
 (例) 3) 佐々木壽英, 赤井貞彦：新潟県の胃癌. p 76. 新潟県立がんセンター新潟
 病院. 1986.

C) 編者と著者が異なる単行本

引用番号) 著者名：標題：書名. 初版以外の場合はその版. 編者. 引用ページ. 発行所.
 出版年.
 (例) 4) 小越和栄：胃潰瘍の再発率：消化性潰瘍の新しい展開. 北島政樹ら編.
 p333-345. 蟹書房. 1986.

D) 電子文献

引用番号) 著者名：標題. [引用日]. URL
 (例) 5) 県立がんセンター新潟病院：放射線治療. [引用2001-7-1]
<http://www.niigata-cc.jp/>

V 〈原稿の採否および審査〉

- 1 投稿論文の採否は編集委員会が行う。
- 2 編集委員会は、投稿原稿について加除、訂正を求めることがある。

VI 〈校正〉

- 1 校正は3校までとし、著者は再校までを行う。
- 2 校正は誤植に限る。内容の加筆補正は避ける。

VII 〈別刷〉

- 1 掲載論文 (抄録類は除く) の別刷は30部まで無料。これを超えた分については、実費有料となる。
- 2 掲載済原稿は著者に返す。

VIII 〈刊行回数と募集時期〉

- 1 刊行回数：年に2回とする。
- 2 発行時期：3月、9月とする。(原稿募集締め切り：6月末、12月末)

IX 〈ホームページ全文掲載〉

- 1 本誌は当院ホームページに全文掲載される。<http://www.niigata-cc.jp/Tosho/Ishi/>
- 2 個人情報保護のため、個人の特定ができないよう留意する。

X 〈その他〉

本誌の刊行および関連事項について、必要あれば編集委員会で協議して決定する。